

昭和50年度 和歌山県文化奨励賞

なかにしひさお
中西久夫 (筆名 神坂次郎)

住所：和歌山県和歌山市

出身地：和歌山県

生年：昭和2年

◎業績及び経歴

昭和18年陸軍飛行学校入校後、航空通信学校を経て陸軍特別攻撃隊に参加、終戦後俳優座演出部などに籍を置いたが転々、長谷川伸氏の知遇を得て同33年「新鷹会」同人となり作家生活にはいった。

氏の作風は明るく、ユニークであるが主として歴史、時代小説が多い。

昭和36年日本文芸家協会々員・同49年三田文学会会員となっている。

作品は数多いが、なかでも「鬼打ち猿丸」で同33年アサヒ芸能賞、また「斑」も同36年近畿文学賞を受賞されている。

以来同45年まで連続10回「さんずん」「かれいの砦」「豚とさむらい」など、10点が日本文芸家協会から代表作時代小説に推挙されているが他に20余冊の作品がある。

同45年には、10余年がかりの紀州のための異色の作品「紀州の方言」を脱稿し、失なわれつつある紀州の正しい方言を大切にされた努力は意義あるものであり次第に重要性を増す好著である。